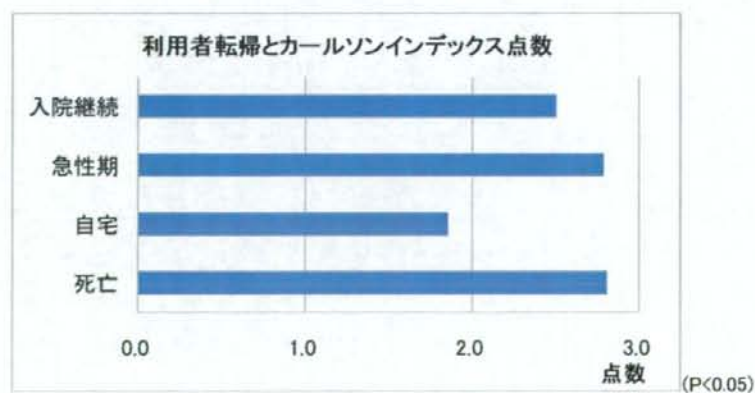
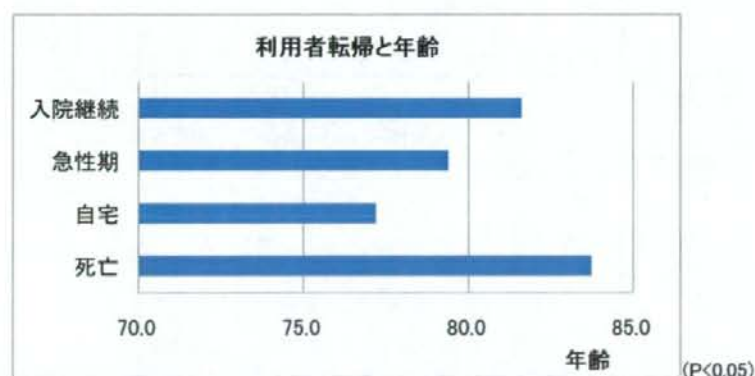


		医療処置		合計
		あり	なし	
死亡	度数	56	11	67
	%	83.6%	16.4%	100.0%
自宅退院	度数	20	44	64
	%	31.3%	68.8%	100.0%
一般病院 転院	度数	12	9	21
	%	57.1%	42.9%	100.0%
入院継続	度数	111	39	150
	%	74.0%	26.0%	100.0%
合計		199	103	302
		%		100.0%
				65.9%
				34.1%

P<0.001



		地域交流		合計
		している	していない	
死亡	度数	24	33	57
	%	42.1%	57.9%	100.0%
自宅退院	度数	26	15	41
	%	63.4%	36.6%	100.0%
一般病院 転院	度数	8	10	18
	%	44.4%	55.6%	100.0%
入院継続	度数	42	83	125
	%	33.6%	66.4%	100.0%
合計	度数	100	141	241
	%	41.5%	58.5%	100.0%

P<0.01

		平均在院日数			合計
		180日未満	180-365日	365日以上	
死亡	度数	12	17	27	56
	%	21.4%	30.4%	48.2%	100.0%
自宅退院	度数	19	9	8	36
	%	52.8%	25.0%	22.2%	100.0%
一般病院 転院	度数	8	4	5	17
	%	47.1%	23.5%	29.4%	100.0%
入院継続	度数	29	33	56	118
	%	24.6%	28.0%	47.5%	100.0%
合計	度数	68	63	96	227
	%	30.0%	27.8%	42.3%	100.0%

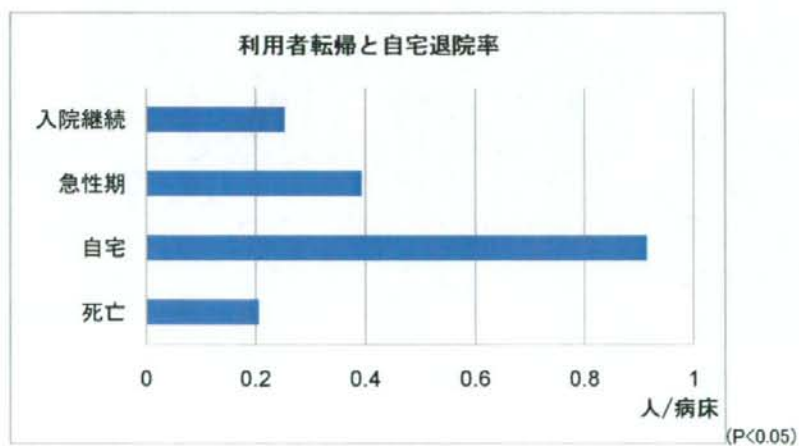
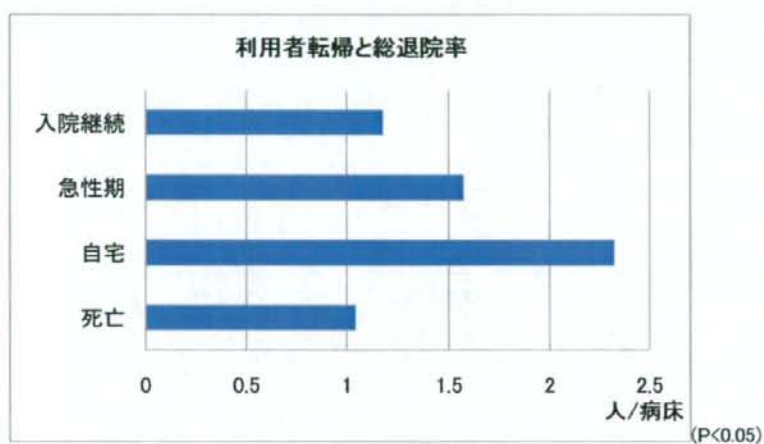
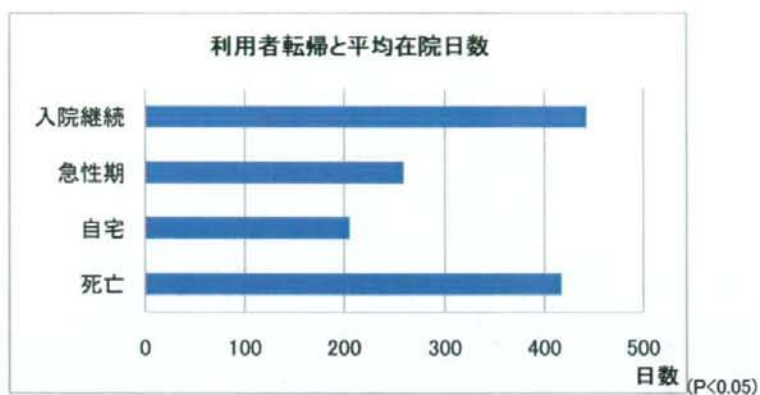
P<0.05

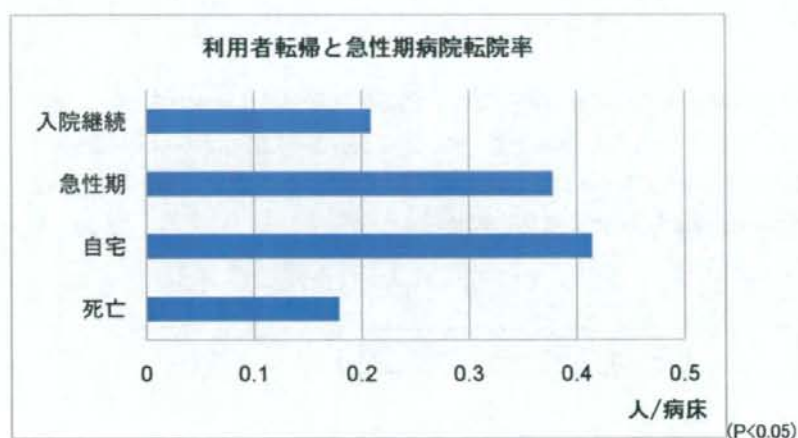
		施設運営の方針					合計
		療養環境 向上	在宅復帰 推進	経営安定	人材確保	その他	
死亡	度数	41	1	7	7	1	57
	%	71.9%	1.8%	12.3%	12.3%	1.8%	100.0%
自宅退院	度数	24	7	3	5	2	41
	%	58.5%	17.1%	7.3%	12.2%	4.9%	100.0%
一般病院 転院	度数	13	0	2	2	1	18
	%	72.2%	.0%	11.1%	11.1%	5.6%	100.0%
入院継続	度数	77	1	20	18	9	125
	%	61.6%	.8%	16.0%	14.4%	7.2%	100.0%
合計	度数	155	9	32	32	13	241
	%	64.3%	3.7%	13.3%	13.3%	5.4%	100.0%

P<0.005

		医療療養病床割合			合計
		39%以下	40-99%	100%	
死亡	度数	18	22	17	57
	%	31.6%	38.6%	29.8%	100.0%
自宅退院	度数	8	19	14	41
	%	19.5%	46.3%	34.1%	100.0%
一般病院 転院	度数	4	9	5	18
	%	22.2%	50.0%	27.8%	100.0%
入院継続	度数	64	44	17	125
	%	51.2%	35.2%	13.6%	100.0%
合計	度数	94	94	53	241
	%	39.0%	39.0%	22.0%	100.0%

P<0.005





全国平均より		利用者転帰				合計	
		死亡	自宅	急性期	入院継続		
在宅サ ビス数	多い	度数	33	46	16	81	176
		%	18.8%	26.1%	9.1%	46.0%	100.0%
	少ない	度数	35	19	8	73	135
		%	25.9%	14.1%	5.9%	54.1%	100.0%
合計		度数	68	65	24	154	311
		%	21.9%	20.9%	7.7%	49.5%	100.0%

P<0.05

3. 老人保健施設転帰調査の結果(単純集計)

6カ月後における老人保健施設利用者の転帰について調査を実施した(平成21年1月)。回収率は427/852(50.1%)であった。死亡退院者が1.9%、自宅退院者が10.8%、一般病院転院者が17.6%、入所継続利用者は55.5%であった。療養病床の調査と比較すると、死亡退所が少なく、自宅退所、一般病院への転所は多かった。継続利用者も多かった。

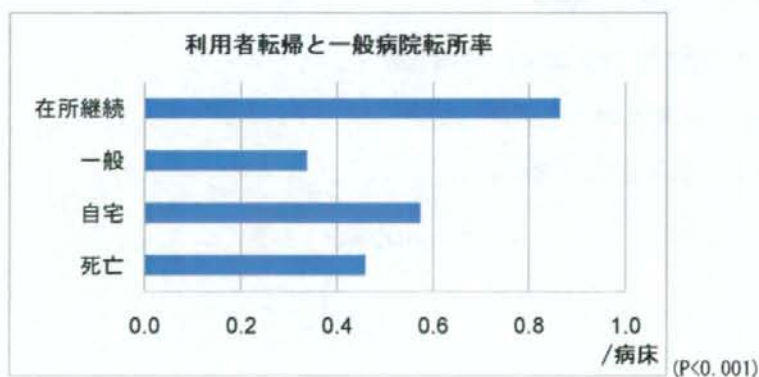
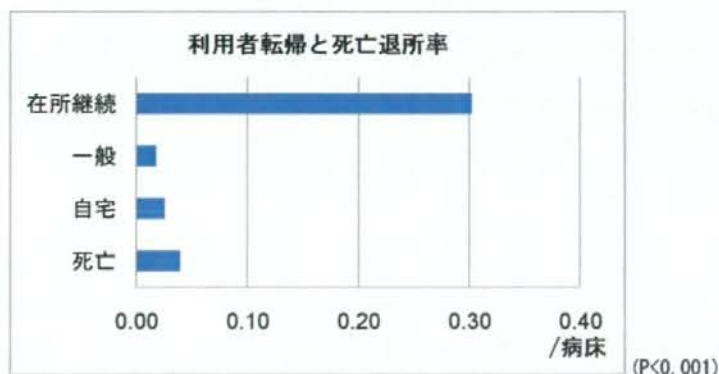
	度数	有効パーセント	累積パーセント
死亡	8	1.9	1.9
自宅	46	10.8	12.6
一般病院	75	17.6	30.2
療養病床	16	3.7	34.0
他の老健	6	1.4	35.4
特養	29	6.8	42.2
在所継続	237	55.5	97.7
その他	10	2.3	100.0
合計	427	100.0	

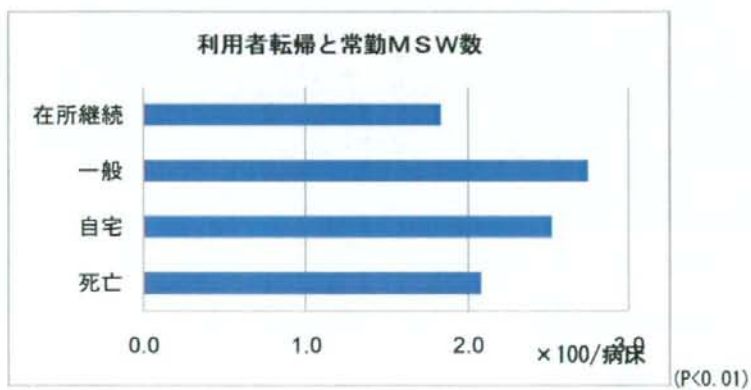
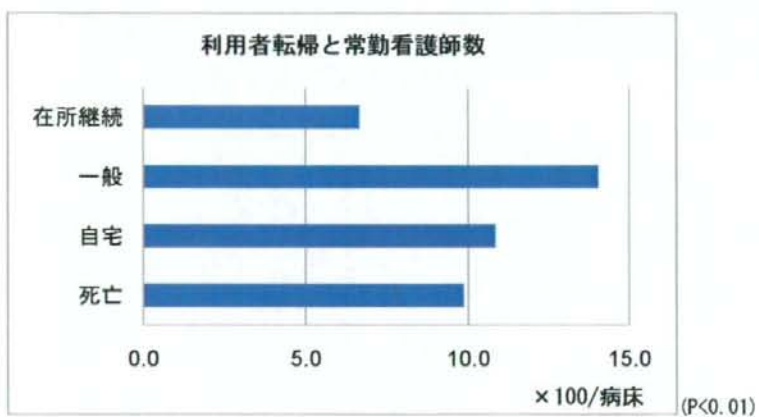
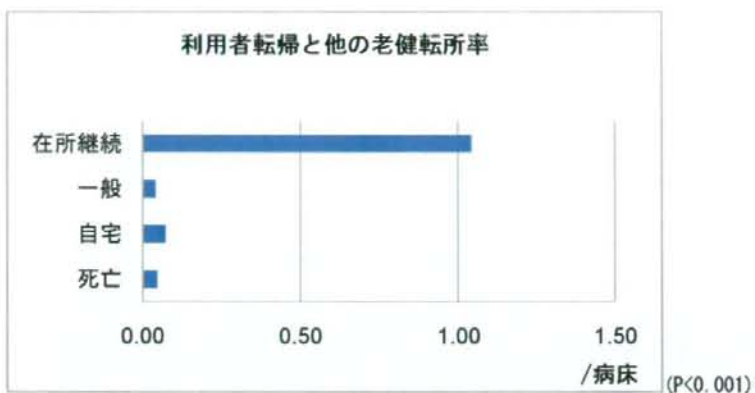
4. 老人保健施設転帰調査の結果(分散分析、およびクロス集計)

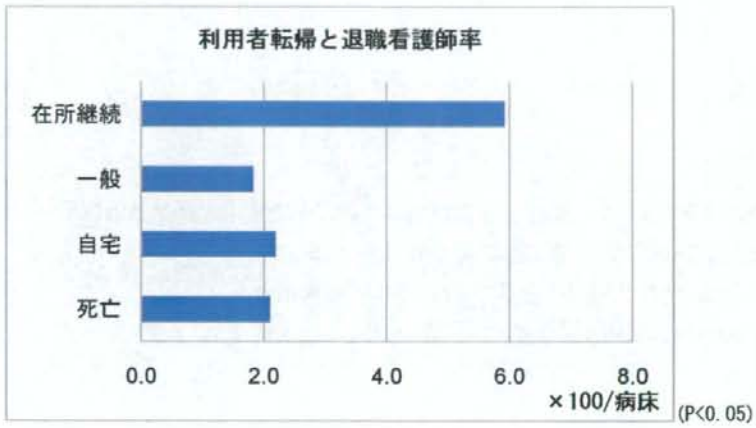
利用者・利用施設背景が利用者転帰に与える影響について分析するため、今回得られた利用者転帰の結果と老人保健施設調査の各指標との関連を分析してみると、死亡退所者が入所していた施設の施設長は療養病床再編について反対の立場をとるものが多く、在所継続者が入所していた施設の施設長は療養病床再編について賛成の立場をとるものが多かった。また、在所継続者が利用していた施設は死亡退所割合、一般病院転所割合、他の老人保健施設への転所割合も高かった。一方、在所継続者が利用していた施設は、常勤看護師数、常勤MSW数が多い傾向にあり、退職看護師の割合が高かった。

		療養病床再編についての考え方				合計
		賛成	どちらか という 賛成	どちらか という 反対	反対	
転帰	死亡	8	39	125	104	276
	度数					
	%	2.9%	14.1%	45.3%	37.7%	100.0%
	自宅	3	7	31	31	72
一般	度数					
	%	4.2%	9.7%	43.1%	43.1%	100.0%
病院	度数	1	0	9	5	15
	%	6.7%	.0%	60.0%	33.3%	100.0%
継続	度数	1	4	1	0	6
	%	16.7%	66.7%	16.7%	.0%	100.0%
合計	度数	13	50	166	140	369
	%	3.5%	13.6%	45.0%	37.9%	100.0%

P<0.005







IV 調査票

<老人保健施設の運営に関する調査>

依頼状

1. 『老人保健施設の運営に関する調査』への協力について—全国老人保健施設協会—
2. 『老人保健施設の運営に関する調査』ご協力のお願い 施設長
3. 『老人保健施設の運営に関する調査』ご協力のお願い 利用者
4. 『老人保健施設の運営に関する調査』ご協力のお願い 相談員

調査票

1. 『老人保健施設の運営に関する調査』調査票 施設長+医師
2. 『老人保健施設の運営に関する調査』利用者

<転帰調査>

1. 『療養病床の運営に関する調査』ご協力のお願い
2. 調査票
3. 『老人保健施設の運営に関する調査』ご協力のお願い
4. 調査票

正会員各位

社団法人全国老人保健施設協会

会長 川合 秀治

(公印省略)

『老人保健施設の運営に関する実態調査』への協力について

昨今、医療の危機的状況がマスコミなどを通じてさかんに喧伝されていますが、その一因は実情と乖離した国の性急な制度変更や医療費削減の影響にあるといわざるを得ません。とりわけ今般の療養型医療施設の廃止、削減とそれに伴う老人保健施設への転換誘導の制度改定は、長期療養高齢者への適切なケア提供体制を歪める結果をまねく可能性があり、当協会でも申し入れや要望を行なってまいりました。これまで老人保健施設において行なわれてきた急性期治療後の在宅復帰をめざす長期療養高齢者へのケア提供は、高齢者の生活権、生存権と尊厳を守る立場から、質・量ともに今後も更なる充実が期待されているものと思われます。

このたび日本老年医学会に設置された高齢者介護システム検討委員会より標記調査の協力依頼があり、当協会としても、その趣旨(別紙)に賛同し協力することに致しました。この調査の目的に挙げられている、長期療養高齢者の包括的状態像評価と焦点化された対応の重要性、および、複合多疾患をもつ高齢者の医療の専門性に立脚したケア提供の重要性が明らかにされれば、今後、現場からの行政施策に対する提言や、利用者が求める高齢者ケアに応える上での一助とすることができるのではないかと思います。

つきましては、この趣旨にご理解を賜り、調査にご協力くださるようお願いいたします。

『老人保健施設の運営に関する実態調査』ご協力をお願い

正会員 各位

日本老年医学会 理事長 大内 尉義
同 高齢者介護システム検討委員会委員長 高橋龍太郎

拝啓

最近の介護保険制度改革や医療制度の見直しの中で、各施設にあっては様々な変化が生じているかと存じます。私ども、日本老年医学会 高齢者介護システム検討委員会は、このような高齢者ケア現場の変化に対し、高齢者医療の立場から有益な情報や提言を提供していくために日本老年医学会内に設置された委員会です。

さて、このたび、療養病床をとりまく状況が大きく変化している中、老人保健施設の運営に関する様々な施設の現状をおうかがいたしたく、調査票をお送りいたしました。ご多忙の中大変恐縮に存じますが、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、本調査は全国老人保健施設協会の了承と協力のもとに実施しております。調査の結果は、まとまり次第、皆様のもとにお届けいたします。

末筆ではありますが、皆様のご多幸、ご発展を心よりお祈りいたします。

敬具

1 調査対象者と回答方法

調査票は「施設長用」と「利用者用」の2種類あります。

- 1) 「施設長用」の調査票には、施設の管理責任者の方がご記入ください。(一部数値の記入に關しましては可能であれば担当の事務の方にご依頼ください) 後半の医師を対象とした調査については、もし施設管理責任者が医師以外の場合は、貴施設の医師の方に記入を依頼ください。その場合調査票は封筒などに密封して「施設長用」の返信封筒と一緒にに入れて返送ください。
- 2) 「利用者用」の調査票は、医療機関から貴施設に転院されて2ヶ月以内の利用者様について、支援相談員に記入をご依頼ください。

ご記入いただいた調査票は、それぞれ該当する封筒を用いて平成20年6月30日(月)までにご返送くださいますようお願い申し上げます(切手不要)。

2 プライバシー保護について

本調査に回答された情報に関しては、個人名が特定できないよう、回答と個人の名前を切り離して統計的に処理いたしますので、皆様のお名前が外部に出たり、回答が他人にもれたりすることは絶対にありません。また、研究以外の目的でデータを使用することは一切ありません。

3 本調査への協力について

この調査は強制ではありません。回答にあたって、お答えになりたくない項目がありましたら無理にお答え頂く必要はありません。そのことによって不利益を受けることは一切ありません。

4 問い合わせ先

日本老年医学会 高齢者介護システム検討委員会委員長高橋龍太郎 (東京都老人総合研究所)
〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2 Tel: 03-3964-3241(内線3135) Fax: 03-3579-4776

『老人保健施設の運営に関する調査』ご協力をお願い
(ご本人様・ご家族様)

拝啓

2000年4月の介護保険施行以来、施設や医療機関においても様々な変化が生じているなかで、私ども、日本老年医学会 高齢者介護システム検討委員会は、このような高齢者ケア現場の変化に対し、高齢者医療の立場から有益な情報や提言を提供しております。

現在、老人保健施設や療養病床をとりまく状況が大きく変化しており、老人保健施設に入所されている方の実態を知ることは、今後の療養状況の改善を図る上で重要です。そこで、皆様の病状や介護の状況等をおうかがいたしたく、現在入所されている施設に調査票をお送りいたしました。調査票の記入は、入所されている施設の支援相談員の方をお願いしております。また、現在の療養環境が与える影響を調べるため、半年後にも同様の調査をさせていただく予定です。本調査への協力に関して、同意いただけず場合は、同意書にご署名の上、支援相談員に提出をお願いいたします。

なにとぞ、この調査の意義、重要性をご理解いただき、ご協力賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

敬具

1 調査対象となった方

医療機関から現在入所中の老人保健施設に転所された利用者様

2 回答方法

支援相談員に調査票の記入を依頼しております。

3 プライバシー保護について

本調査に回答された情報に関しては、皆様のお名前が外部に出たり、回答が他人にもれたりすることは絶対にありません。また、研究以外の目的でデータを使用することは一切ありません。

4 本調査への協力について

この調査は強制ではありません。協力を希望されない場合は無理に協力する必要はありません。そのことによって不利益を受けることは一切ありません。

5 問い合わせ先

日本老年医学会 高齢者介護システム検討委員会委員長
(東京都老人総合研究所 福祉と生活ケア研究チームリーダー) 高橋龍太郎

〒173-0015 東京都板橋区柴町 35-2

☎ 03-3964-3241 (内線 3135)

FAX : 03-3579-4776

『老人保健施設の運営に関する調査』ご協力をお願い

支援相談員 様

日本老年医学会 理事長 大内 尉義
同 高齢者介護システム検討委員会委員長 高橋龍太郎

拝啓

皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。さて、2000年4月の介護保険施行以来、施設や医療機関においても様々な変化が生じている中で、昨年より老人保健施設をとりまく状況も大きく変化しつつあります。私ども、日本老年医学会 高齢者介護システム検討委員会は、高齢者ケア現場の変化に対し、高齢者医療の立場から有益な情報や提言を提供していくために日本老年医学会内に設置された委員会です。今回、老人保健施設における医療の実態を知り、利用者の療養状況の改善を図っていくため、標記の調査を行うことにいたしました。そこで、利用者様の医療の実態等をおうかがいいたしたく、調査票をお送りいたしました。お忙しい中まことに恐縮ですが、なにとぞ、この調査の意義、重要性をご理解いただき、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、本調査は全国老人保健施設協会の了承と協力のもとに実施しております。調査の結果は、まとまり次第ご希望の皆様のもとにお届けいたします。

末筆ではありますが、皆様のご多幸、ご発展を心よりお祈りいたします。

敬具

1 調査対象

医療機関から貴施設に転所されて2ヶ月以内の利用者様 (最大5名まで)

※各利用者様、またはご家族様に同封された調査依頼状に理解頂き、同意書への署名をもらってください。同意書1枚目は私どもへの返送用、2枚目は貴施設保存用、3枚目は署名者用です。

2 回答方法

支援相談員様が各利用者様の状態について調査票にご記入ください。なお、回答後は同意書と共に、同封の返信用封筒に入れて平成20年6月末日までにご返送ください(切手不要)。

3 プライバシー保護について

本調査に回答された情報に関しては、個人名が特定できないよう、回答と個人の名前を切り離して統計的に処理いたします。また、半年後にも同様の調査を予定しているため、利用者様のID記入欄を設けておりますが、個人情報・回答を外部へ漏えいすることはありません。研究以外の目的でデータを使用することはありません。

4 本調査への協力について

この調査は強制ではありません。協力を希望されない場合は無理に協力する必要はありません。また、そのことによって不利益を受けることは一切ありません。

5 お問い合わせ先

日本老年医学会 高齢者介護システム検討委員会委員長 高橋龍太郎
(東京都老人総合研究所 〒173-0015 東京都板橋区柴町35-2)
Tel : 03-3964-3241(内線3135) Fax : 03-3579-4776



施設長用

施設ID

老人保健施設の運営に関する調査

2008年 6月

日本老年医学会

高齢者介護システム検討委員会

この調査票のご記入は、施設の管理責任者の方にお願い致します

この質問票は施設の管理責任者の方をお願いしているものです。半年後に一部の利用者様の経過を追跡するためこの用紙の上にIDが入っていますが、この回答を統計処理以外に用いることはいたしませんので率直にお答えいただければありがたく存じます。なお、回答後は同封の返信用封筒に入れて投函ください。

問1 あなたの年齢をお答えください。

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 20歳代 | 2 30歳代 | 3 40歳代 |
| 4 50歳代 | 5 60歳代 | 6 70歳以上 |

問2 あなたの性別をお答えください。

- 1 男性 2 女性

問3 医師になって何年ですか（医師でない場合は、職種をご記入ください）。

※ 端数切上 例：3年4ヶ月→4年

年 職種 _____

問4 貴施設での勤務年数をお答えください。

※ 端数切上 例：3年4ヶ月→4年

年

問5 施設長に就任して何年ですか。 ※ 端数切上 例：3年4ヶ月→4年

年

問6 ご専門の診療科をお答えください。（医師でない場合は無記入でけっこうです。内科あるいは消化器科など書き方は自由です）

_____ 科

問7 今回の療養病床再編についての考えは次のどれに近いですか。

- 1 賛成 2 どちらかという賛成 3 どちらかという反対 4 反対

問8 後期高齢者医療制度改革についての考えは次のどれに近いですか。

- 1 賛成 2 どちらかという賛成 3 どちらかという反対 4 反対

問9 貴施設はどのようなところに立地していますか。(〇は1つ)

- 1 住宅密集地域
2 住宅散在地域
3 商業地域
4 工業地域
5 その他(具体的に:)



問10 貴施設には、認知症高齢者に対応する専門棟はありますか。

- 1 ある 2 ない

問11 貴施設で総合的機能評価を行なっていますか。(総合的機能評価とは心身のさまざまな機能評価を組み合わせる医療ケアを決定していく手法のことです)

- 1 行なっている 2 一部行なっている 3 行なっていない 4 わからない

問12 貴施設には、地域交流のプログラム(花見・夏祭り・クリスマス会など)はありますか。

- 1 はい 2 いいえ

問13 貴施設では、学生や実習生を定期的に受け入れていますか。

- 1 はい 2 いいえ

問14 貴施設ではボランティアを受け入れていますか。

- 1 はい 2 いいえ

問15 貴施設内では研究活動がおこなわれていますか。

- 1 はい 2 いいえ

→ 昨年度1年間で、施設内で行った研究会、研修会の回数は何回ですか。

_____回

→ 年間の研修計画を立てる担当者が決まっていますか。

- 1 はい 2 いいえ

問16 貴施設では、サービスの向上のために、業務改善委員会やQCサークルのような部門横断的な活動を行っていますか。

- 1 はい 2 いいえ



※ 以下では統計データに関する質問が含まれます。もし可能でしたら事務担当の方にお答えをご依頼ください。なお、医師への質問が「5ページ」に続きます。

問17 貴施設は建設（最後の改築）から何年経過しましたか。

※ 端数切上 例：3年4ヶ月→4年

_____年

問18 昨年度（平成19年4月～平成20年3月）の利用者平均在所日数（実日数）は何日ですか。

_____日

問19 貴施設の定床数をお答えください。

_____床

問20 昨年度（平成19年4月～平成20年3月）の貴施設からの退所人数をお答えください。また、その内訳をそれぞれご記入ください。

合計 _____人

そのうち、

死亡退所数	_____人
自宅（子供さんや親族の家も含む）退所数	_____人
一般病床転院数	_____人
療養病床転院数	_____人
他の老健への転所数	_____人
特養ホームへの転所数	_____人
その他	_____人

問21 現在、貴施設に所属する常勤医師は何人ですか。

合計 _____人



問22 現在、貴施設に所属する常勤の看護師（准看護師を含む）数は何人ですか。
_____人

問23 現在、貴施設に所属する常勤の介護職の数は計何人ですか。
計 _____人

問24 現在、貴施設に所属する常勤の支援相談員は何人ですか。
_____人

問25 昨年度（平成19年4月～平成20年3月）、定年退職を含め退職した常勤の医師、看護師（准看護師を含む）、介護職の数は、それぞれ何人ですか。

医師	_____人
看護師（准看護師を含む）	_____人
介護職	_____人

この調査票のご記入は医師の方にお願い致します。もし施設管理責任者が
医師の場合、引き続き記入をお願い致します。

この質問票は全国老人保健施設協会のご協力の下、施設管理責任者を通じてお願いしているもので
す。半年後に一部の利用者様の経過を追跡するためこの用紙の上にIDが入っていますが、この回
答を統計処理以外に用いることはいたしませんので率直にお答えいただければありがたく存じま
す。なお、回答後は封筒に入れて密封のうえ施設管理責任者にお渡しください。

問1. 現在の施設に勤務した主な理由は次のうちどれですか。主なものを1つ選び○をつけてください。

- 1 高齢者ケアを実践したかったから
- 2 勤務条件（当直や勤務時間）が合ったから
- 3 勤務条件（収入）が合ったから
- 4 通勤に便利だったから
- 5 その他（具体的に： _____)

問2. 高齢者ケアで重要だと思うことは次のうちどれですか。該当するものをすべて選び○をつ
けてください。

- 1 認知症の医学知識とケアについて
- 2 医療処置の選択と実践
- 3 総合評価の考えに基づくチームケア
- 4 在宅医療との連携
- 5 ケアの継続性と一貫性
- 6 転倒など老年症候群
- 7 新薬の知識と薬物療法の考え方
- 8 ターミナルの考え方と実践
- 9 摂食・嚥下の医学知識とケアについて
- 10 施設における感染症対策
- 11 その他（具体的に： _____)

問3. 現在の高齢者ケアの現状についてのお考えは次のどれに近いですか。

- 1 現状のままでよい
- 2 もっと充実すべき
- 3 その他（具体的に： _____)

問4. 現在の職場に満足していますか。

- 1 はい 2 どちらともいえない 3 いいえ

問5. あなたが、昨年1年間に出席した学会、研究会、研修会は何回でしたか。
_____回

問6. 昨年1年間に出席した施設内研究会、研修会は何回でしたか。
_____回

問7. 研修など勉強のための時間を確保できていますか。



- 1 確保できている
- 2 どちらかというと確保できている
- 3 どちらかというと確保できていない
- 4 確保できていない

問8. 看護師、支援相談員、介護職などのチームミーティングを定期的に行っていますか。(はいの場合は頻度を1つ選んでください)

- 1 はい
(頻度: ①1回以上/日 ②3~5回/週 ③1~2回/週 ④1~3回/月 ⑤月に1回未満 ⑥不定期)
- 2 いいえ

問9. チームケアが適切に実践できていると思いますか。

- 1 できている
- 2 どちらかというとできている
- 3 どちらかというとできていない
- 4 できていない



問10. 歯科の診察が必要なときに困ることはありますか。

- 1 困らない
- 2 あまり困らない
- 3 時々困る
- 4 いつも困る

問11. 整形外科の診察が必要なときに困ることはありますか。

- 1 困らない
- 2 あまり困らない
- 3 時々困る
- 4 いつも困る

問12. 皮膚科の診察が必要なときに困ることはありますか。

- 1 困らない
- 2 あまり困らない
- 3 時々困る
- 4 いつも困る

問13. 精神科の診察が必要なときに困ることはありますか。

- 1 困らない
- 2 あまり困らない
- 3 時々困る
- 4 いつも困る